
下向く少年

cod

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

下向く少年

【Nコード】

N1238N

【作者名】

cod

【あらすじ】

大地は下を向いて歩く。何かを探して。

真夏のアスファルトは、じりじりとしていて熱い。

大地は五歳だ。彼は、自販機の下の所を、覗いたり漁ったりしている。

歩道を歩く人々は、そんな彼をちらつと見るが、子どものやっていることだからと思って、特に気にせず通り過ぎてゆく。

しばらくすると、彼はあきらめたように汗を拭い立ち上がった。

そしてその場で一息着くと、歩道に向かって歩き出した。

大地は下を向いて歩く。何かを探すように、黒目をきよろきよろと動かしながら。

そんなことをしているものだから、ふらふらとしてしまい、偶に自転車の邪魔になったり怒られたりする。だけど、彼はそれを止めることなく歩き続ける。

しばらくすると、駄菓子屋が見えてきた。

一度も見たことのない店だったけど彼はそこに入った。古ぼけた店内は、椅子に座ったお婆さんが一人で店番をしているだけで、他には誰もいなかった。お婆さんが入ってきた彼をちらりと一瞥した。彼はそれを避ける様に反対側へと下を向いて歩く。やがて飲料水が置いてあるガラスケースの前で立ち止まった。と、思ったら急に落ちつきなく、きよろきよろと左右を見渡した。そして時折お菓子の棚を見たりして、やはりきよろきよろ下を向いて歩く。

しばらくそうしていると、すぐ後ろから声がした。

「おい、ガキ」

呼ばれて振り向いてみると、そこには、杖をついたお婆さんがしかめ面をしていた。

「何か拾っても、この店にあるものは私のものだ。買うものがないのなら、さっさと出て行け！」

そう大声で言われ、彼は慌てて店から出た。しかし、勢い余った

のか、誰かにぶつかって転んでしまった。

「あら、大丈夫」

見上げると、顔の綺麗な女性が彼に向かって手を差し伸べていた。そして彼がそれに掴まって立つと、彼女は尋ねた。

「ねえ、何をしていたの？」

「お金を、探していたの」

「あら、どうして？」

「お腹がすいてたから」

彼女が、「どのくらい？」と尋ねると彼は「今までにないくらい」と答えた。彼女は悲しそうな顔を見せて彼と同じ高さになって言った。

「じゃあ、お家に帰ろうか」

「だけど、お家の鍵無くしちゃったの」

それを聞いた彼女は、しょんぼりする彼を安心させるように微笑んだ。

「大丈夫よ、私が持っているから」

それを聞いた彼は、笑顔になった。

「そっか」

「そうよ。帰ってお昼ご飯にしましょう、大地」

「うん、お母さん」

二人は手をつないで歩いた。もちろん、下を向くことなく。

PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になるうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連に横書きという考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能たんのうしてください。

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。
<http://ncode.syosetu.com/n1238n/>

下向く少年

2010年10月20日19時59分発行